

## ●どんな実験(工作、観察、体験)ができるの?

身近にある食品で化学反応を体験してみましょう。キッチン周りで見かけるある物質を使って、バスボムを作ることができます。バスボムをお風呂に入れた時に出る泡の正体を、実際に家庭で作れるバスボムづくりを体験しながら学んでみましょう。

## ●準備しよう

重曹、クエン酸、片栗粉(粗塩でもOK)、霧吹き、小さめの型(シリコン製)

## ●やってみよう

- ① ボウルなどの容器に、大さじ一杯の重曹、小さじ一杯のクエン酸、小さじ一杯の片栗粉または粗塩を入れる。
- ② 霧吹きで全体に水を吹きかけながら、箸やスプーンで粉っぽさがなくなるまで混ぜる。
- ③ ②で混ぜ合わせたものを型に入れ押し固める。
- ④ 家で行う場合は1時間から2時間冷蔵庫で冷やす(冷やすことでより固まりやすくなります)。
- ⑤ 完成。実際にご自宅の洗面所やお風呂で試してみてください。

## 《どうしてこうなるのかな?》

重曹とクエン酸は、水に入れると反応して二酸化炭素が発生します。この二酸化炭素がバスボムを水に入れた時に出る泡の正体です。この反応は体にほとんど害がないため、お菓子などにも使われています。その場合、クエン酸は他の酸で代用されていることが多いです。シュワシュワするお菓子があったら、パッケージ裏などを確認してみましょう。片栗粉、または粗塩は、バスボムを固まりやすくするために入れます。

## ●気をつけよう

- ・材料やバスボムは絶対に口に入れないでください。
- ・水を循環させるタイプのお風呂では使えない場合があります。
- ・バスボムの使用は病気やけがなど、体調が良くないときは念のため控えましょう。
- ・気分が悪くなったらすぐに使用を中止してください。重曹は弱アルカリ性のため、肌の弱い方、乳幼児、お年寄りの方は十分に気をつけましょう。
- ・重曹やクエン酸の粉が目に入らないようにしましょう。目に入ってしまった場合はすぐに洗い流してください。バスボムを処分する際は少量なら水道管が詰まらないよう水を流しながら、水に入れられない場合は、燃えるごみとして各家庭で処理してください。

## ●くわしくしらべてみよう

- ・HONDA「Honda Kids：自由研究：バスボムをつくろう」  
<https://www.honda.co.jp/kids/jiyuu-kenkyu/lower/17/>
- ・篠原由子「バスボムレシピ」河出書房新社、2015年